

平成30年度行政評価シート【個表】

平成 30 年 7 月 5 日

評価対象事業		評価者	道路課担当課長	齋藤 政徳
都整-15	重点事業	道路維持補修事業	■ 自治事務	主管課 道路課
			□ 法定受託事務	関連課
総合計画上の位置付け	分野	道路整備	施策の方針	道路・橋りょうの整備・維持管理

1 事業の目的

対象	市民等
意図	市民等の安全性、利便性を確保するため。
効果	安全で円滑な交通を確保するための施設保全を図る。

2 平成29年度に実施した事業の概要

<ul style="list-style-type: none"> ・道路の維持補修を行い、安全で円滑な交通を確保し、事故防止に努めるとともに、通学路の安全対策を実施した。 ・市道037-025号線外、他5件の道路維持補修工事を行った。また、前年度から繰越明許費により、市道043-062号線他1件の道路維持補修工事を行い、市道027-000号線外の道路維持補修工事は、年度内に完了できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。 ・崩落土砂の撤去を行い、通行の安全を確保した。 ・北鎌倉隧道安全対策検討業務は、年度内に完了できなかったため、翌年度へ繰越しを行った。 ・新西鎌倉横断歩道の横断歩道橋修繕設計業務を行った。また、小袋谷歩道橋の交通量調査業務を行った。 ・市内の緊急輸送路・避難路の路面下空洞調査業務と市道034-000号線の路面空洞調査業務を行った。 ・東日本旅客鉄道株式会社にJR北鎌倉駅仮改札口開設工事等と小袋谷歩道橋剝離対策工事を依頼し、完成した。

3 事業費等基礎データ

データ区分	28年度決算		29年度決算		データ区分	30年度当初予算		備考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	176,869人	80,928世帯	176,466人	81,150世帯	176,308人	81,763世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	136,232	220,533	当初予算(千円)	352,147			
	国県支出金	279		国県支出金	16,335			
	地方債		127,800	地方債	215,500			
	その他	55,499	23,158	その他	120,312			
	一般財源	80,454	69,575	一般財源	0			
	人員配置数	2.4	2.4	人員配置数	2.0			
事業経費運営	人件費(千円)	19,918	20,000	人件費(千円)	16,804			
	総事業費(千円)	156,150	240,533	総事業費(千円)	368,951			
	市民1人当りの経費(円)	883	1,363	市民1人当りの経費(円)	2,093			
	対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)				

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		△. 協働未実施 協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	市内の道路の劣化は著しく、早急に対応する必要があるため、道路の維持補修については、優先順位を定め、計画的な舗装修繕に努める必要がある。
	事業へ統合				
予算規模の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	市内の道路は、整備後相当年数が経過しているため、舗装状態の劣化が著しく、市民から補修要望が多く寄せられているため、予算規模を拡大して対応を図る必要がある。		

総評(評価に対する考え方、根拠等)	<p>・本市の道路舗装状態は劣化が著しく、市民から多数の舗装や補修要望が寄せられていることから、事業費の拡大を図る必要があるが、業務執行にかかる人員等の配置や厳しい財政状況を考慮すると困難な状況である。</p> <p>・道路は市民生活にとって不可欠な社会インフラであることから再任用職員なども積極的に活用し、着実に整備を進めていく。</p> <p>・また、道路の維持補修については、道路調整会議などを活用し、作業センター、他企業(水道・ガス等)との連携を図り、可能な限り有効かつ効果的な対応を行っている。</p>
-------------------	--

平成29年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	市内の道路は、整備後相当年数が経過しているため、舗装状態の劣化が著しく、市民から補修要望が多く寄せられていることから早急の対応が必要となっているが、限られた予算と職員で対応せざるを得ないことから執行率が上がっていない。	
課題解決のために行った平成29年度の取組	作業センターとの連携をはじめ、道路調整会議等で他企業(水道・ガス等)との連携を図り、有効かつ効率的な対応を行った。	<input type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input checked="" type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	市民からの道路に関する補修要望は多く、内容も多岐にわたるとともに、抜本的な改修が必要とされる箇所も多いこと、また限られた職員での業務発注となるため、対応に数年を要することになる。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項								
団体名	鎌倉市							
他市実績								

当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方	
----------------------	--

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	道路舗装修繕計画の進捗率(単年度目標)					単位	路線	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29		H30	H31		
計画的に実施する必要があるため。	目標値	3.4	3.4	3.4	3.4		3.4	3.4		
	実績値	1.9	1.5	2.2	2.7					
	達成率	55.9%	44.1%	64.7%	79.4%					

当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方	
-----------------------	--